

# 神奈川県立伊勢原高等学校 グランドデザイン

## スクール・ミッション

- 生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、すべての生徒が共に学び、相互理解を深める教育を推進する中で、生徒一人ひとりの学習 や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 深い知性と豊かな教養、高潔な志操をもつ心身ともに健全な人材の育成をめざし、社会性、公共心、表現力豊かなコミュニケーション能力等これからの社会に求められる資質・能力を育成するための教育に取り組む。
- 自ら課題を発見し解決する力、主体的に学びに向かう力を育むことができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善を実施することや、違いを個性と特性として理解し、思いやり、優しさを育む取組を推進する等、教育活動の充実に取り組む。

## 学校教育目標

- 多様な情報を活用して自己の価値観を形成し、表現力豊かなコミュニケーション能力を持つ「自立した大人」の育成をめざす。
- 深い知性と豊かな教養を身に付け、新たなものを生み出す発想力を鍛え、自ら課題を発見し解決する力を持つ社会に貢献できる人材を育成する。
- 多様性を個性・特性として理解し、社会性、公共性、優しさを身につけた共生社会に貢献する人材を育成する。

## グラデュエーション・ポリシー

～「自立・友愛」の校訓のもと、このような力を身に付けます～

- 主体的に学び行動して、自己の将来を積極的に開発していく力。
- 他者と協力するために表現を工夫してコミュニケーションを深め、多様性を理解しながら課題を解決していく力。
- 社会性、公共心を重んじて連帯し、相互理解と思いやりを基盤とした地域社会に貢献する力。

## カリキュラム・ポリシー

- 1学年では基礎的な知識・技能を習得するために、共通教科の必修科目を中心としたカリキュラムとし、2・3 学年では生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるために選択科目を設置したカリキュラムとしています。
- 高度情報化社会に対応したICT活用を進めながら、各教科・科目において、生徒同士で課題の解決を図る探究的な活動を行うことにより、思考力・判断力・表現力を育み、他者と協働しながら課題を解決する力を身に付けます。
- 体育祭や文化祭などの学校行事、地域資源を生かした探究活動、部活動などの特別活動を通して、望ましい人間関係の形成や豊かな心と体を育むとともに、社会性や協調性を育みます。

## アドミッション・ポリシー

- 自ら学び、考え、表現し、行動することで進路の実現を目指し、努力を続ける 意欲のある生徒
- 他者の個性を理解・尊重し、協力しながら課題の解決や目標の達成に向けて取り組む 意欲のある 生徒
- 学校行事、生徒会活動、部活動、地域活動において、社会に貢献する意欲のある生徒

	教育課程・学習指導	生徒指導・支援	進路指導・支援	地域との協働	学校管理・学校運営
目 標	①教育課程が、生徒の実態とニーズに合っているか、進路希望の実現に対応しているか検証する。 ②ICT利活用授業研究推進校として、組織的な授業改善と効果的な ICT の利用方法を模索する。	①学校行事や生徒会活動に参加する中で、生徒同士が自己や他者を認め、協力しながら目標を達成していく力を育成する。 ②より誰にでも相談しやすい環境を整えたり、生徒教員向け各種研修会を行うことで、生徒自身が自身の問題に対し解決するために行動できる力を育成する。	①受験科目の変更を調査するとともに、大学などと連携し迅速に科目変更などの情報をとり入れ、外部機関からも情報を収集する。また、企業研究・地元探求などを通して、社会情勢を学ぶ機会を設定する。 ②キャリア教育計画を視覚的に明確なものとし、共有する。	①地域貢献活動以外にも、地域と交流する機会を作り、地域との信頼関係を築くとともに社会性を養う。 ②生徒中心の学校説明会の充実とHPの内容の充実を図る。	①事故・不祥事の未然防止のため、ICTを活用したアンケートを実施し、多くの職員の高回答率、正答率を高める。 ②災害発生時にスムーズな対応や行動がとれるように地域と連携して、広域避難所としての防災意識を高める。
主 な 方 策	①教育課程が生徒の実態とニーズに合っているかを検証し、必要があれば見直しをおこなっていく。 ②ICT の特性を生かし、生徒による授業評価の「学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある」の項目の学校平均値 3.2 を目指す。	①生徒が主体となって行事運営ができるよう、委員会活動を充実させ、生徒間での話し合いが積極的になされるようサポートする。 ①生徒向け研修会および教員向け研修会を行い、それぞれが対応する力を身に着ける機会を設ける。 ②面談期間を有効活用し、生徒の悩み等の早期発見を行う。場合によっては、SC 等と連携する。	①総合的な探究の時間での取り組み、外部機関の提供情報などを精査し、教職員で共有するとともに生徒に必要な情報を周知する。 ②キャリア教育計画を表や図で表し、周知する。	①生徒会・委員会・部活動に所属する生徒等と地域との交流について考える場を作り、清掃活動以外の交流を行う。 ②生徒中心の学校説明会を充実するとともにさまざまな機会を通じて本校の魅力を発信する。	①ICT を活用したアンケートを実施し、職員が回答するように学年会などで呼びかける。また、正答率を上げるよう、管理職と協力し事故不祥事防止の徹底に努める。 ②地域との避難訓練運営会議などの内容を、ICT を活用し、教員間で共有を徹底する。地域の防災課題を踏まえ、万が一の有事の際に一人ひとりが行うべきことを自覚する。

## 校訓・沿革・伝統

- 昭和3年5月21日 私立伊勢原実科女学校として伊勢原町伊勢原大福寺において開校する
- 昭和23年4月1日 学制改革により神奈川県立伊勢原高等学校と改称する
- 平成29年4月 在県外国人等特別募集、初の入学生を迎える
- 平成30年11月22日 創立90周年記念式典挙行する
- 令和2年4月インクルーシブ教育実践推進校特別募集、初の入学生を迎える
- 校訓「自立」「友愛」

## 特色のある学校行事等

- 「ICT利活用授業研究推進校」として、ICTの導入を推進します。
- 「インクルーシブ教育実践推進校」及び「在県外国人等特別募集実施校」として、「D&Iコンセプト※」のもと、共生教育を実現し、共生社会の担い手を育成します。  
※ D:Diversity(多様性)、I:Inclusion(包括性)
- 「主体的・対話的で深い学び」を推進し、自分の考えをしっかりと持ち、発信することのできる力「生きる力」を育成します。
- 体育祭と文化祭を合わせて「明鏡祭」と呼び、全日制・定時制が協力をして実施しています。